



一般質問

金子 克己 議員

市の生涯学習について

質問 市生涯学習は進められているのか。

市長 我々は人間として成長する過程で「ら学び、社会で活動していく中で学ぶ。あるいは社会生活を充実したものにする生涯学習推進のための報告を求めること、その方向性を指示することが少ないと感じている。

質問 生涯学習事業を各課が担当しているが、認識し、連携して推進しているか。

上下水道課長 生涯学習事業として、各施設見学会・教本の製作配布等々を展開しているが、今後とも認識を新たにし、連携を強めて推進したい。

質問 生涯学習スポーツ事業である、元気×2トキめきクラブの今後について。

社会教育課長 地域スポーツ振興に大きな役割を果たしている。継続と拡大に協力していきたい。

質問 市の外郭団体と生涯学習の関係は。

社会福祉課長 社会福祉協議会では、各種ボランティア講座等を実施しており、関連が強い団体と認識している。

質問 交代期に推進会議メンバーに外郭団体からも積極的に参加願っては。

市長 組織があっても機能していない状態であり、計画だけで終わっていることを反省し、委員構成も含めて考えてみたい。

質問 生涯学習所管課を、市長部局で担当し連携をとるべき。

市長 担当課は今機構改革でシンプルな組織になり、引続き社会教育

課でやらせたい。

教育長 認識を新たに担当課として、生涯学習の島づくりを推進したい。



一般質問

中村 良夫 議員

平和・女性の命と健康 就学援助制度の改善を

質問 佐渡市が「非核平和都市宣言」することについて再度見解を求める。

市長 宣言までに市民との意見交換など、手続が必要であり検討を続けさせていきたい。

質問 子宝頸がん予防ワクチンを無料で接種できるように公費助成を求める。

市長 実施については、他の自治体の動向を見ながら、前向きに検討したい。

質問 公費助成をいつ実施すると考えているのか。

市民生活課長 早くても次年度以降と考えている。

質問 ■や県に向けて子宝頸がん予防ワクチン接種に助成を行うよう要望する。

市民生活課長 ■・県への要望は、全市長会に対し予防接種法に定める定

期接種と位置づけ、接種費用の軽減について必要な措置を講ずるよう要望をしている。

質問 小中学生のいる家庭への就学援助制度の改善と拡充について、他市に比べ低い認定基準の引上げは緊急課題である。

学校教育課長 佐渡市の場合収入金額の1.2倍であるが、県内の状況を見ると、所得額の1.4倍、1.5倍というところもある中で、見直したい。

質問 就学援助で増えた項（クラブ活動費、PTA会費、生徒会費）と■が示しているすべての項■を支給すること。

学校教育課長 検討する。

質問 就学援助の認定に際して「民生委員の助言」は、法的な根拠がなくな

るので廃止すること。



小中学生のいる家庭では就学援助制度の活用を



一般質問

■中 文夫 議員

教育は誰のためか



【質問】 学校は地域の文化・体育の中心という認識、統合は複式学級の解消が目的という認識、これらについての考え方を説明せよ。

【学校教諭】 集落へ行く、学校は地域のコミュニティということでは非常に統合・廃校に反対されているが、地域の理解を得て進めたい。複式学級の解消は、変則複式等になると1人の先生が1年・2年、2年・3年というように2つのクラスを持ち、その先生に負担もかかり、生徒にもあまりいい効果があらわれないことから、まず前期で複式学級の解消に努めたい。

【質問】 学校資源が地域の重要な宝であった時代はとうに過ぎている。ましてやコミュニティなどと

いうものが学校を中心にして成り立っているというのではない。その認識をまず変えないと地元要求に屈していくということになりかねない。学校の統廃合は子供のためにするものである。子供に集性を担保する。今後子供が成長し、大人になって社会人として健全な生活を送っていくために必要なこと、ある意味では学校に残されている使命であると考ええる。複式学級の解消が目的である。小中連携校でそれが可能か。

【学校教諭】 小中連携校については、複式学級が確かに発生する。複式学級の解消というのは、小中連携校を除いた学校と理解してもらいたい。地元住民の中には、確かに

2人か3人ぐらいのクラスメートしかない。それが小学校まで6年間ならまだしも、プラス3年間で9年間もそういう人数だけでつき合っている子供は成長、生徒の精神的な成長というものが果たしてそれでよいのかというような疑問もあるが、地区住民の総意としてはあくまでも小中連携校で残してもらいたいということである。



一般質問

加賀 博昭 議員

60億円の船買うて
15年間船賃を半額にする

【質問】 加賀市政報告「327号の⑧」には、空港用地の「佐渡の10億円上乗せは不用」との回答をテレビ朝日の淡河ディレクターが、取材の中で県に確認している。その記録の内容を説明されたい。

【市長】 この記録では、公示価格200万円には補償額は含まれていないと読みとれる。

【質問】 佐渡の10億円上乗せは、県の無理難題に對抗した知恵の一撃だ。「特別会計」で約16億円予算化して、今度10億円減額したが、佐渡市は金銭的被害を受けたか。

【市長】 被害は何も受けていない。

【質問】 佐渡市が60億円の船を買い佐渡汽船に与えれば、■は39億円の交付金を出す。佐渡市の負担

金21億円は合併特例債の適用で6億3000万円が済む。それで毎年2億6000万円、15年間ジェットフォイルは2800万円、乗用車往復1万5000円くらいに安くできるはずだ。

【市長】 これから県や佐渡汽船と協議するが、10月の最終ヒアリングまでに



社会資本整備総合交付金制度は、道路費の20%の範囲内で船の建造費が認められる。その65%、39億円の交付金で佐渡にくる。

は詳細な報告ができる。60億円は全部運賃軽減に当ててもらう。

【質問】 加賀市政報告「328号の小野見川の源流のゴミ不法投棄は、高千から岩谷■まで876人の水道水で放置できない。「水道水源保護条例」を急ぐべきだ。

【市長】 「水道水源保護条例」を急いで制定する。

【質問】 加賀資料Aは佐賀県富士町の「廃校利用の無農薬野菜栽培の昭和の元氣村」で、障害者の雇用の場所だ。私は年間15トンの出荷量で佐渡の廃校必要面積を計算してもらったが10教室必要だ。実施すべきと思うが。

【市長】 23年度に試験的に「廃校野菜工場」を実施する。



一般質問

中川 直美 議員

将来ビジョン最優先でなく 特養待機者の解消を現実課題に



【質問】 市長訓示によれば「将来ビジョンはバイブル」との位置づけだが、市の最上計画は、今年度策定した「総合計画」ではないか。

【総合政策監】 将来ビジョンは総合計画に反映されるもので、法に基づく「総合計画」が最上位。総合政策課（監）は総合計画に基づく全体を総合的に見る部署。

【質問】 福祉分野の弱い将来ビジョン第一でなく、特養待機者538人の解消や現実に取り組んでいる問題等を解消実現する方針が必要。

【総合政策監】 医療、福祉、介護連携のコンパクトシティー化をプロジェクトとして考えている。

【質問】 将来ビジョンで佐渡らしさを活かした観光に強力に力を入れているにもかかわらず防波堤立入禁

止は観光や将来ビジョンに逆行している。県の検討委員会は閉鎖が妥当でないとの結論であるし、大阪市の関係者と協議の上、開放している。閉鎖費用分を安全対策に■すべき。

【市長】 観光施策上は有効だが施設管理責任上から必要。

【質問】 夫婦と子ども2人、課税所得200万円で約14%の■保稅負擔は重すぎる。基金や一般会計繰入れで公的医療保険制度の役割を果たすべき。

【市長】 負担は重いと思う。繰入れには、市民の理解が必要だ。22年分は市民に理解してもらえらる形で基金対応も視野にいれて考える。

【質問】 今年度の学校統合での通学バスのトラブルは。学校統合に関係なく、平成17年頃から通学バスにつ

いての文科省通達等が数多く出ている。それに基づく対応がされているか。

【教育長】 通達等は承知していない。

【学校教育課長】 現在、通学は路線バスを基本としているが、子どもを中心に財政■も含め各課で協議していきたい。

【質問】 将来ビジョンでは、生物多様性基本法の取組みが上げられている。■の戦略は「里山」が重要としている。里山保全に大きな役割を果たす深刻な中山間地域の農業の農業機械購入への支援策が必要。

【市長】 農業、観光施策と生物多様性の流れを並行して進める。中山間地域の■維持保全は小規模農家により行われている。農業機械の経費低減には、共同、組織化の中で支援していきたい。

ていきたい。



一般質問

松本 正勝 議員

トキ観察仮設ステージは ムダ使いではないか



【質問】 私は「宵乃舞」に鼓を叩く地方の一人として初めて出演、情緒豊かなぼんぼりの薄明かりに照らされた京町通りで、見物に訪れた大勢の観光客から異■同音に、このイベントを称賛する声を聞いた。私の長い民謡活動の中で最も感動した夜だった。関係者及びボランティア各位にあらためて敬意を表したい。市長も当■、三味線を弾き出演していたが、率直に宵乃舞の感想を聞きたい。

会議の企画する事業が、市観光課なのか、佐渡観光協会独自の事業なのかはわからない。その成果もややむやみに感じ、なぜ戦略会議でなければならぬのか必然性が見えてこない。明確に説明を。

【市長】 佐渡観光推進戦略会議は、中越沖地震復興基金の補助金を県からもらう、■県を始め、JR、■本旅行業協会や農水■体大学関係者など幅広い方々から、全県的、横断的な視点、客観的な立場で具体的提案をいただき実行に移す事業を行っている。

【質問】 新穂正明寺地内に佐渡市がおよそ540万円をかけて設置した「トキ観察仮設ステージ」の周辺状況把握していないのか。接続道路の倒木が半年以上も放置され

ていないなど管理がずさんでは市長がこの施設の重要性をいかに説こうとも、トキ観察に名を借りた無駄使いの象徴である。市長は現状を承知していたか。

【市長】 この報告は受けていなかったので反論のしようもないが、いずれにしても、あの場所にはトキ観察にいい場所であることは間違いないので、トキの観察する拠点にできるだけしたい。



倒木に遮られた観察棟への道路



一般質問

小■ 純一 議員

こどもが元気な宝島をめざす
政策について**【質問】** ① 主運営の子育てサークルへの財政支援を。

② 延長保育時間の繰り上げ・繰り下げ、夜間・休日・病後児保育の早期実施及び一時預かりの拡充を。

③ 子育て世代の多い佐和田地区への支援センター設置と支援内容の充実を。
④ イベントや集会施設、児童遊園、市民病院等の公共施設に授乳、おむつ替えベビーキープ等子育て仕様の施設整備が必要。
⑤ 子育て世代の視点と実態調査を生かした「子育てガイドブック」発行活動に調査を含む費用支援を。**【市長】**① 環境づくりに子育てサークルの支援は大切なことと認識している。
② 延長保育、一時保育の

拡充は、ニーズを把握し対応する。夜間・休日・病後児については、平成26年までに整備を進めた。

③ 支援センター設置は地域バランスやニーズを考慮し適切に対応したい。

④ 子育て世代が安心して外出できる環境整備を関係課が連携して対応したい。

⑤ 子育て世代の■線に立ったガイドブック作成は価値あるもの。支援の方向で検討する。

【社会福祉課長】

子育てサークルの連携は歓迎すべき動き。可能な支援等を検討する。

【質問】

現金井保育■について統合後は、休日・夜間・病後児・一時預かり等に特化した保育■として活用できるよう佐渡厚

生連に協力を求め設置しては。

【社会福祉課長】 今後の検討課題。計画にある26年度を■途に前向きに検討したい。**【質問】** 分庁舎建設計画は

後年度の財政負担・今後予測される職員数や行政サービスの見直し・厳しい財政事情を理由に特例債事業のカットや施設統廃合等市民に痛みを求めてきたことから理解は得られない。急がれるのは介護施設の整備であり、慎重な対応を求める。

【市長】 現状ではいろいろな交渉中のところがある。

一般質問

村川 四郎 議員

新組織と職員のやる気への疑問

**【質問】**

外部的な組織改革が行われたが、職員の内部的、精神的な改革が不十分。パブリックサバント（公僕）意識の指導や■己申告、適材適所で職員の能力が人事に活かされていないのではないか。

【市長】公僕として、市民の暮らしの視点に立つて、簡素で効率的な組織の中でモラルと意欲を持つて対応するために組織のスリム化を決断し再編を行った。
【総務課長】 ■己申告は10月と3月の毎年2■行い、人事異動に活かしている。**【質問】**

南部の中学校統合の経緯が不鮮明。3地区の合意と理解はどのような手段で確認したのか。各地域審議会は、統合議論で機能したのか。また学校跡地を含め廃校舎の再利用を進行すべきだ。

【教育長】

学校統合のコンセンサスを得るため3地区の地域審議会、各小中学校、保育■、幼稚■等の代表者33人で構成する統合検討委員会を南部地区中学校統合の意向をまとめ、議会総務文教常任委員会に先ず2校での統合意向を報告し、合併特例債での新校舎建設を確認した。市では各地区で説明会を開催し、統合の確認と理解に努めている。廃校施設利用は、地域では跡地利用検討委員会、市では市有財産検討委員会を設置し協議している。

【質問】

空港拡張と佐渡汽船の代替船問題は、佐渡市の財政と人■激減の将来像から、航路と空路の議論が矛盾している。歳出不可能な空港用地購入の特別会計をなぜ今■も

設けたのか。今なぜ大型空港が必要なのか。佐渡汽船の代替新造船事業に佐渡市は前向きだが、その兼ねあいは。

【市長】

空港は安全・安心、災害時、医師確保、企業誘致への備えとして市は引き続き2000メートル滑走路に取組んでいく。土地同意取得交渉で支障をきたさため用地補償の見込みを勘案し、5億円の予算計上をした。新造船は社会資本整備総合交付金の概算要望という形で手を挙げた。

